

## 令和元年度 総合教育会議

### 【持続可能な教育への取組】

令和元年12月4日（水）14時～

- ▶ SDGs、ESDについての学校での取組
- ▶ コミュニティ・スクール導入の成果
- ▶ 教育研究所の強化

学校名	E S Dテーマ（平成30年度）
新居浜小	見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮西小	地域とつながり 未来へはばたく みやにし（人・文化・自然）
金子小	豊かな関わりの中で人とつながる魅力ある学校づくり 未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト ～かかわる・つながる・ひろがる～
金栄小	金栄いきいきつながりプロジェクト ～地域の方との交流活動を通して～
高津小	ふるさと発見 つなげよう未来へ
浮島小	共に生きる
惣開小	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～SDGs達成のために学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐE S D活動を通して～
垣生小	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さと共に生きることの素晴らしさを感じられる子～
神郷小	めざそう 神郷 E環境
多喜浜小	「多喜浜塩田を未来に伝えよう」
泉川小	進めよう！エコ・アクション ～地球環境を守るために、明るい展望をもって気付き、考え、実行する児童の育成～
船木小	「ふれあい ～ふるさと船木の自然や人～」
中萩小	「伝えよう！地域のよさを」
大生院小	「つながり」を大切にすることの育成 ～人・地域社会・自然との関わりを通して～
角野小	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別子小	「学校・地域文化の継承・自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～
東中	「うぐいす運動」
西中	地域を知り、人とつながり、未来を拓こう
南中	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北中	私たちはどのようにすれば、人や自然に優しい街づくりができるのだろう。
泉川中	地域や社会に生きる一員として、公のために行動する
船木中	環境の視点から地域を見つめ直し、地域の一員としてどのように生きていけばよいか考えよう。
ひびき分校	「地域と連携した和太鼓活動」～地域に学び、自己の生き方を考える～
中萩中	「自立・共存・交流」～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然とのかかわりを通して～
角野中	大人になっても語ろう！角野の誇り
川東中	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる
別子中	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～

学校名	E S Dテーマ（令和元年度）
新居浜小	見つめよう 考えよう 未来へつなげよう ふるさと新居浜 ～学校ビオトープの学びを中心に～
宮西小	地域とつながり 未来へはばたく みやにし（人・文化・自然）
金子小	未来につなげよう！金子愛顔の町プロジェクト ～かかわる・つながる・ひろがる～
金栄小	金栄いきいきつながりプロジェクト ～地域の方との交流活動を通して～
高津小	ふるさと発見 つなげよう未来へ
浮島小	共に生きる
惣開小	自ら学び、自ら考え、持続可能な社会づくりに参画・貢献できる人材の育成 ～SDGs達成のために学校と地域のパートナーシップを構築し、多様なステークホルダーとの協働により学校と地域をつなぐE S D活動を通して～
垣生小	「社会」「自然」「歴史・文化」とのふれ合いを通して ～命の尊さと共に生きることの素晴らしさを感じられる子～
神郷小	めざそう 神郷 E環境
多喜浜小	「多喜浜塩田を未来に伝えよう」
泉川小	わたしたちのまち 大好き泉川 ～自然・文化・人とのかわりによるSDGsの達成～
船木小	「ふれあい ～ふるさと船木の自然や人～」
中萩小	「伝えよう！地域のよさを」 ～東川の環境整備を中心にして～
大生院小	人・自然・地域から、ふるさと大生院の未来を創造する児童の育成
角野小	角野小学校タイムトラベル ～ふるさとに誇りをもち、そのよさを発信していける子の育成～
別子小	「学校・地域文化の継承・自然から学ぶ」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～
東中	「うぐいす運動」
西中	地域を知り、人とつながり、未来を拓こう
南中	「共生社会」の実現を目指し、自己の生き方を探ろうとする心豊かな生徒の育成
北中	私たちはどのようにすれば、人や自然に優しい街づくりができるのだろう。
泉川中	地域や社会に生きる一員として何ができるかを考え、公のために行動する
船木中	環境の視点から地域を見つめ直し、地域の一員としてどのように生きていけばよいか考えよう。
ひびき分校	「地域と連携した和太鼓活動」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
中萩中	「自立・共存・交流」 ～地域に学び、自己の生き方を考える～
大生院中	伝え合い学び合う生徒の育成 ～人・もの・自然とのかわりを通して～
角野中	大人になっても語ろう！角野の誇り
川東中	地域の暮らしを見つめ、地域や社会の一員としてよりよく生きる
別子中	「学校・地域文化の継承」「自然から学ぼう」 ～ふるさとを守ろう ふるさとから学ぼう～

### 泉川小学校 ESDテーマ

わたしたちのまち 大好き泉川 ～ 自然・文化・人とのかかわりによるSDGsの達成 ～



米作りについて知ろう



ほくにもわたしにもできるエコ・アクション

泉川小学校では、『わたしたちのまち 大好き泉川』をテーマに、地域とのつながりを大切にして総合的な学習の時間や生活科の時間を中心に、SDGsと関連させ学習を進めています。

毎年、地域のどろんこボランティア団体「どろんこクラブ」の支援、協力の下、5年生が米作り体験をしています。児童にとっては初めての体験であるため、社会科等とリンクして、米作りについて調べ学習として取り組んでいます。6月に、「どろんこクラブ」の方をはじめ、保護者・地域の方々の協力を得て田植え体験を行いました。10月の稲刈りでも同様に、収穫したもち米をもとにおはぎを作り、会食したり、6年生が実施する「もちつき」用に収穫したもち米を提供したりし、親睦を深めるとともに他の活動に結び付けることができ、児童は活動の広がりや達成感を体感することができました。また、日常の美化活動の他、毎月第2週目をエコ週間として、環境美化委員会を中心として全校児童エコ活動を行っています。アルミ缶やトレイ、牛乳パックやペットボトルのキャップ等のリサイクル回収を行ったり、昼の校内放送で水道コックや電灯の確認等エコ行動の呼び掛けを行ったりしています。また、エコ週間には、「エコ・アクション」振り返りカードを記入することにより、自主的なエコ行動がとれるよう意欲付け・意識付けを図っています。

### 船木中学校 ESDテーマ

環境の視点から地域を見つめ直し、地域の一員としてどのように生きていけばいいか考えよう。



先人の思いを体感



ニホンイシガメに関する学習

船木中学校では、『環境の視点から地域を見つめ直し、地域の一員としてどのように生きていけばいいか考えよう。』という学年全体を通じたテーマのもとに、地域を愛し、その発展を真剣に考える生徒の育成に努めています。①進路学習や道徳における自己を見つめる学習、②里山での生態調査（カメ活動）やかぶと山登山といった地域固有の自然に焦点を当てた環境学習、この2つを主軸として、すべての教育活動におけるESDの実践を通して先述した生徒の育成を図っています。かぶと山登山では、山頂で船木地区に古くから伝わる伝統芸能、『かぶと踊り』を踊りました。この踊りは豊穡を願う雨乞いの踊りです。また、全校体制で行っているカメ活動では、地域の方々、とべ動物園や住化テクノロジーリサーチの方々のご協力のもと、地域に生息する生物や里山の豊かな環境の保全活動を行っています。

## コミュニティ・スクール導入の成果

学校運営協議会での話し合いにより、これまでの学校行事をコミュニティ・スクールの視点で見直したり、新たに地域・保護者が連携・協力したりすることで、学校の教育目標や地域の特色を踏まえたさまざまな活動が各校区で実施されている。

コミュニティ・スクールの活動を通じて、学校運営の質の向上、地域の子どもはみんな育てる意識の醸成、子どものふるさとを大切に育む育ちの育成、コミュニティの活性化などの成果が表れている。

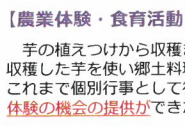
### 【小中合同防災遠足】（小・中・地域の合同行事の実施）

小中合同の学校運営協議会を設置し、地域住民による移動時の安全確保や昼食準備などの協力を得て、別々に実施していた遠足を小学校と中学校合同で実施。さらに地域防災の観点を加え、地域防災における中学生の役割意識の向上が図られた取組となった。



### 【長期休暇中学学習会の実施】（卒業生や地域の協力による学習支援）

地域住民と小・中学生の交流、小・中学生の学習支援を目的に学校運営協議会が実施。校区在住の教員OB・卒業生が講師となり宿題サポート等に加え、進学のアドバイスを聞ける機会にもなった。学習会を通して世代を超えた交流ができ、また卒業後の若者が地域に貢献できる機会となった。



### 【農業体験・食育活動】（植えつけ～収穫～料理）

芋の植えつけから収穫までの農業体験だけでなく、婦人会の協力を得て、収穫した芋を使い郷土料理の「芋炊き」を作り食べるところまで行うなど、これまで個別行事として行ってきた事業を集約することで、児童に一貫した体験の機会を提供ができた。



### 【地域住民の生徒会への参画】

中学校生徒会に地域住民が参加し、議論に加わることで、生徒会活動に地域の視点が変わり、幅広い議論が進められるようになった。生徒の地域課題解決や社会貢献の意識が高まり、生徒が自主的に地域清掃の場所を選定するなど自発的な活動につながっている。

### 【地元主婦による裁縫先生】（授業への直接支援）

学校運営協議会を通じて地域の主婦の方などに協力を依頼し、家庭科の裁縫実習で、班ごとの個別サポートや生活の中で身に付けた裁縫のコツを教えてもらうなどで、担当教員ひとりではできない児童一人一人の進捗に応じたきめ細やかな指導を実践した。



### 【3校合同の学校運営協議会】（2小・1中での協働）

2つの小学校と2つの公民館のこれまでの密接な関係を保ちながら、地域行事やPTA行事をコミュニティ・スクールの活動と位置づけ、そこに中学生が参加することで合同の防災訓練などを実施し、これまでの取組やつながりを生かしながら校区の教育目標の具現化を図る。

### 【地域住民による面接指導】（進路指導の支援）

高校受験を控えた中学3年生を対象に、学校職員や地域住民で模擬面接を実施。普段から指導している教員ではなく地域住民が面接官となることで、ほどよい緊張感を持ちつつ練習を行うことができ、生徒たちは安心して受験本番に挑むことができた。



## コミュニティ・スクールの成果（長期休暇の学習会）

コミュニティ・スクール事業の一環として泉川校区で始まった長期休暇中の学習会の実施が市内に広がっており、高校生や中学生がボランティアとして参加したり、地域住民が書道や自由研究を指導したりするなど、地域との関わりによって、豊かな学びの場の提供や地域活性化につながっている。

### 広がる居場所づくり



夏休みから長期休業中の小学生の居場所づくりに地域住民が役割を担う動きが泉川校区内で広がっている。公民館や学校で1日授業の「学習会」を開催し勉強を教える形で今後は小学校区のつちつち校区が実施。他の居場所関係は順次広げられていく。

### 学習会 住民ら支援

泉川校区を皮切りに、泉川小学校の児童が、夏休みから長期休業中の小学生の居場所づくりに地域住民が役割を担う動きが泉川校区内で広がっている。公民館や学校で1日授業の「学習会」を開催し勉強を教える形で今後は小学校区のつちつち校区が実施。他の居場所関係は順次広げられていく。

泉川校区を皮切りに、泉川小学校の児童が、夏休みから長期休業中の小学生の居場所づくりに地域住民が役割を担う動きが泉川校区内で広がっている。公民館や学校で1日授業の「学習会」を開催し勉強を教える形で今後は小学校区のつちつち校区が実施。他の居場所関係は順次広げられていく。

新居浜 小中学生の長期休暇

愛媛新聞：元/09/16 第1面

## コミュニティ・スクールの成果（学校現場の声）

- **学校運営の質の向上**

外部人材の活用による学校教育・行事の活性化  
教職員の異業種交流による教員の資質・能力の向上 等

- **学校と地域の連携強化**

地域・保護者の協力による豊かな体験活動  
地域の子どもはみんなで育てる意識の醸成 等

- **地域への誇りと感謝する心の育成**

子どもの発想による地域貢献による地域の活性化  
文化祭、地域防災訓練等の地域行事への児童生徒の参加  
地域からの感謝 → 子どもの満足感（自分への信頼）

## 新居浜市教育研究所の位置

新居浜市教育研究所は、新居浜市教育委員会事務局内にあります。

## 新居浜市教育研究所の研究所員数

令和元年度の研究所員は、教員8名を任命しています。

## 新居浜市教育研究所の目的

新居浜市教育研究所は、『たくましさとしなやかさをもち未来を拓く子』の育成を目指して、『地域とともに育つ学校』の『学び続ける教職員』を支援します。取組としては、「学校等支援」、「教職員研修」、「教育研究」、「相談支援」の4つの事業を行い、新居浜市の学校教育の充実と教職員の資質・能力を図ることを目的としています。

## 新居浜市教育研究所の基本理念

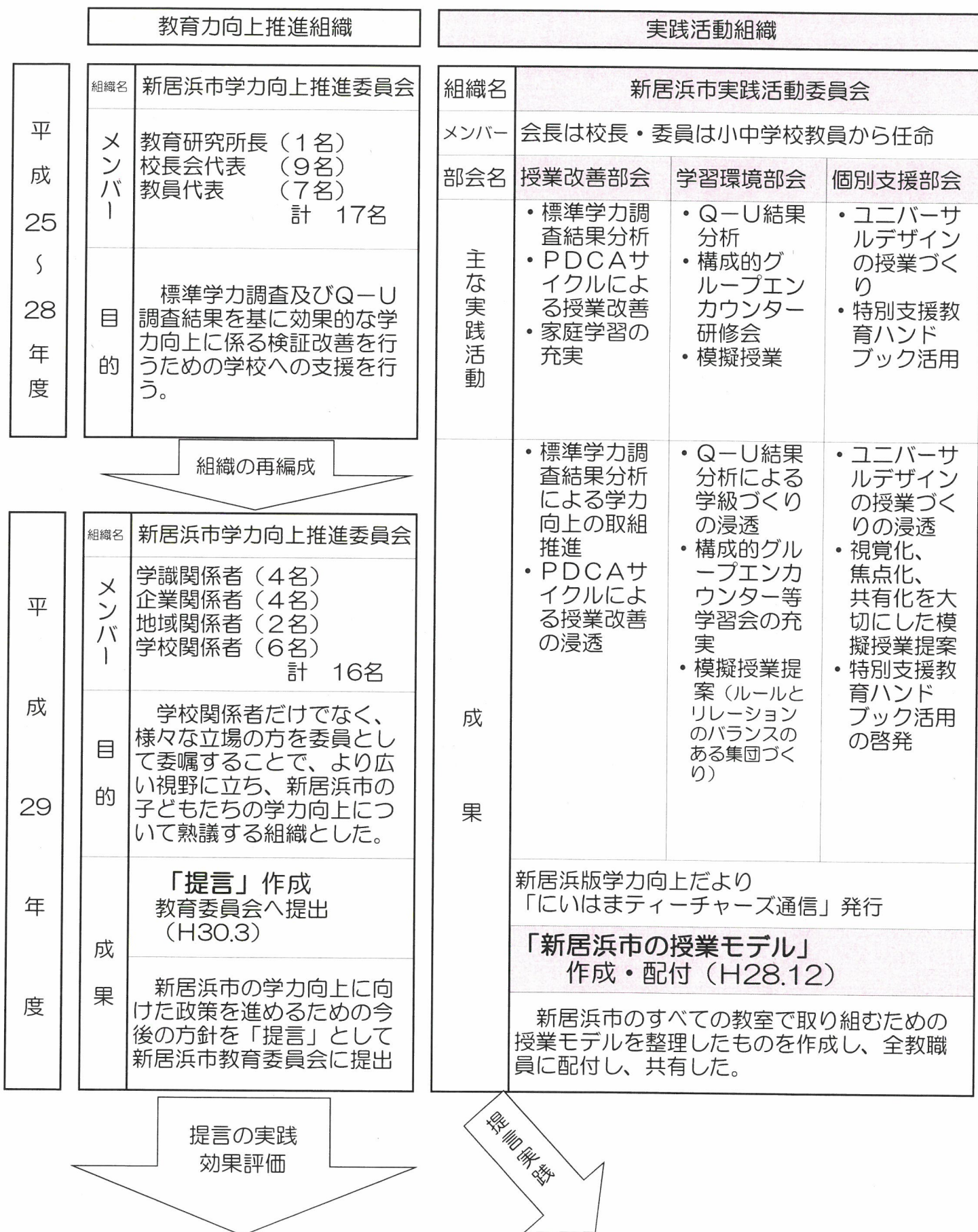
子どもたちの未来に責任もつ教育を創造するためには、私たち学校自体が、「学習する組織」でなければなりません。教育研究所は、「アクティブラーナー」としての在り方を追究し続ける研究組織として事業推進を図ります。

## 教育研究所のミッション

教育研究所の使命は、学校、教職員、児童生徒のための総合的支援を行うことです。そのために、次の3つのミッションを推進します。

- 1 全教職員の元気・やる気を保障するための支援を行う。
- 2 ユニバーサルデザインによる授業づくりを推進する。
- 3 研究所員による実践研究をみんなで共有する。

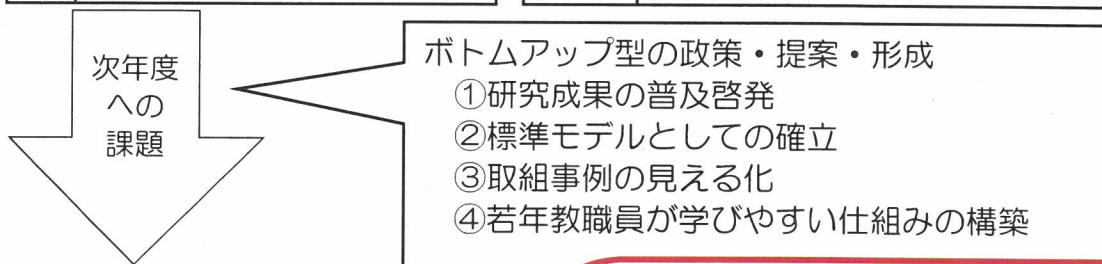
学力向上推進組織の経緯 ～未来を生き抜く子どもたちと共にある学習する教育委員会～





平成 30 年度	組織名	新居浜市学力向上推進委員会
	メンバー	学識関係者 (3名) 企業関係者 (4名) 地域関係者 (2名) 学校関係者 (3名) 計 12名
	目的	提言の実践効果の評価等、新居浜市の学力向上についての熟議
	開催日	9月4日 (火) (暴風雨のため中止) 3月5日 (火)

組織名	第22期新居浜市教育研究所 (所員研究)
メンバー	教員10名 (公募により任命)
研究内容	提言を基に実践研究を行う。随時、学校や教職員に向けて、研究内容の発信を行う。
全教員共有方法	学習会 (自主参加) ・研修会発表 ・所報 ・研究紀要 ・データUP 等
研究主題	未来を生き抜く力を育む実践研究
目指す子ども像	「たくましさ」と「しなやかさ」をもった子ども



令和 元 年度	組織名	新居浜市学力向上推進委員会
	メンバー	学識関係者 (3名) 企業関係者 (3名) 地域関係者 (2名) 学校関係者 (3名) 計 11名
	目的	提言の実践効果の評価、授業モデルの改善等、新居浜市の学力向上についての熟議
	開催日	9月13日 (金) 3月6日 (金)

組織名	第22期 (2次) 新居浜市教育研究所 (所員研究)
メンバー	教員8名 (公募により任命)
研究内容	前年度取組の課題改善に向けて2年目の実践研究を行う。随時、学校や教職員に向けて、研究内容の発信を行う。
全教員共有方法	学習会 (自主参加) ・研修会発表 ・所報 ・研究紀要 ・データUP 等
研究主題	未来を生き抜く力を育む実践研究
目指す子ども像	「たくましさ」と「しなやかさ」をもった子ども

## 新居浜市教育研究所

### 「教育は人なり」

明日の新居浜市を支える豊かな人材を育成するためには、指導者である新居浜市の教職員の資質向上が必須。



働きやすく学びやすい教育環境の整備が求められる。

#### <教職員の学びの場の充実と拡大>

- 研修（自己研修・校内研修・職能研修 など）のほかに仲間や先輩たちとの議論を行ったり、アドバイスをもらったり、アイデアを出し合いながら教材づくりをしたり、情報交換をしたりする場が必要である。
- 目まぐるしく変化する社会情勢に呼応して、求められる教育も常に上書きされていく時代。新しい教育観にすぐさま対応するには、情報を素早くキャッチし、提供できる教育機関が必要。個々のニーズに応じたセミナー的な多種多様な研修を用意する必要もある。
- 学校教育の指針の「目指す子どもの姿」と「学び続ける教職員」を受けて、その実現のために教職員を代表して実際に研究を行うのが教育研究所員。その所員が率先して学べるように先進地研修や講演会の実施、研究の発表の場や研究紀要の作成も必要だと考える。

**第22期 新居浜市教育研究所の2年目の取組がスタートしました!**

第22期 新居浜市教育研究所  
**【研究主題】** 「未来を生き抜く力を育む実践研究」  
**【目指す子ども像】** 「たくましさ」と「しなやかさ」をもった子ども



平成30年5月11日、10名の研究所員を任命し、研究主題を「未来を生き抜く力を育む実践研究」としてスタートした第22期新居浜市教育研究所の活動も、いよいよ2年次を迎えました。

2年次は、教育研究所としての明確なビジョンを提示し、教育研究所の研究が個人の研究として終わるのでなく、上記の研究主題と目指す子ども像が新居浜市全教職員の共通意識として浸透し、研究がみんなのものとして現場に活かされ、新居浜市の子どもたちの力となっていくことを目指しています。今年度も、所報「にいしまラーナーズ通信」をはじめ、電子データの共通フォルダへのアップなどを通して情報発信をしていきます。

新居浜市のすべての先生方の貴重な研修となりますよう、ご理解とご支援をお願いいたします。

＜昨年度研究所員＞ 大生院小：印南友統先生の発表

**豊かなスポーツライフの実現をめざして!**  
 ~仲間と運動・できる喜び・挑戦できる子どもに~



10連休明けの5月7日(火)小体連理事会の中で、小学校の体育主任の先生方を対象に、昨年度研究所員として活躍された印南先生の研究発表が行われました。

全国的に子どもの体力低下が危惧されている中、新居浜市の子どもたちの体力も数値的には厳しい現実にあります。そこで、印南先生の発表では、豊かで楽しいスポーツライフを目指す中で体力テストの数値を伸ばす<sup>秘</sup>テクニクが紹介されました。ぜひ、実践していただけたらと思います。

